

プログラム 1日目 (第1会場)

6月5日 (金) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 11:50 ~ 12:00

開会式

【当番世話人】日浅 陽一 (愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学)

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学 医学部 消化器内科)

6月5日 (金) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 12:20 ~ 13:10

ランチョンセミナー1

【司会】吉治 仁志 (奈良県立医科大学 消化器内科学講座 (消化器・代謝内科))

【共催】ギリアド・サイエンシズ株式会社

LS1 B型肝炎に関する諸問題の解決に向けて

金沢大学医薬保健研究域医学系 消化器内科学

○山下 太郎

6月5日 (金) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 13:20 ~ 14:20

プレナリーセッション1

【司会】森本 直樹 (自治医科大学消化器内科学部門)

池田 公史 (国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科)

【コメンテーター】國分 茂博 (新百合ヶ丘総合病院肝疾患低侵襲治療センター)

PL1-1 肝細胞癌に対する Atezolizumab + Bevacizumab 療法と Durvalumab + Tremelimumab 療法で認められる血中癌免疫関連蛋白の異なる早期動態

¹広島大学病院 消化器内科、²広島大学病院 肝疾患センター

○大野 敦司¹、三浦 峻一¹、住井 悠紀¹、末田 咲¹、橋本 晃¹、江盛 智明¹、藤野 初江¹、
村上 英介¹、河岡 友和¹、三木 大樹¹、柘植 雅貴^{1,2}、岡 志郎¹

PL1-2 切除不能肝細胞癌における CLEAR score が Atez/Bev と Dur/Tre の奏効・病勢コントロールの予後的意義に与える影響

¹手稲溪仁会病院 消化器病センター、²RELPEC/HCC48

○田中 一成^{1,2}、辻 邦彦^{1,2}、平岡 淳²、多田 俊史²、畑中 健²、的野 智光²、狩山 和也²、糸林 詠²、
高口 浩一²、矢田 豊²、川田 一仁²、石川 達²、厚川 正則²、黒田 英克²、田尻 和人²、柿崎 暁²、
海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²、熊田 卓²

PL1-3 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法における体表面積補正ベバシズマブ曝露量の臨床的意義

¹神戸大学医学部附属病院消化器内科、²RELPEC/HCC48

○青江 佳歩¹、多田 俊史^{1,2}、平岡 淳²、辻 邦彦²、豊田 秀徳²、畑中 健²、柿崎 暁²、玉井 秀幸²、
狩山 和也²、熊田 卓²

PL1-4 進行期肝細胞癌に対する免疫複合療法の治療効果予測—多施設腫瘍生検コホートをを用いた検討

¹東京医科大学 消化器内科、²慶應義塾大学 病理学教室、³九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科、
⁴藤田医科大学 消化器内科、⁵順天堂大学練馬病院 消化器内科

○杉本 勝俊¹、紅林 泰²、杉本 理恵³、葛谷 貞二⁴、大久保 裕直⁵

PL1-5 肝細胞癌の免疫複合療法におけるレジメン毎の単一細胞解析による全身免疫応答の比較検討

¹大阪大学 医学部 医学科 消化器内科、²JCHO 大阪病院

○明神 悠太¹、西尾 啓^{1,2}、大工 和馬¹、平尾 建¹、前阪 和城¹、滋野 聡¹、田畑 優貴¹、疋田 隼人¹、小玉 尚宏¹

PL1-6 18F-FDG PET/CT 検査と肝細胞がんの代謝リプログラミングに関する検討

¹近畿大学 医学部 消化器内科、²東京大学 大学院 農学生命科学研究科、³京都大学 肝胆膵・移植外科、

⁴九州大学大学院 消化器・総合外科、⁵慶應義塾大学医学部 病理学教室

○青木 智子^{1,2}、小木曾 聡³、伊藤 心二⁴、西田 直生志¹、紅林 泰⁵、盛田 真弘¹、千品 寛和¹、田北 雅弘¹、萩原 智¹、南 康範¹、上嶋 一臣¹、波多野 悦朗³、工藤 正俊¹

6月5日（金）第1会場（ヴィクトリアホール） 14:30～15:20

スポンサーセッション1

肝細胞癌薬物療法の新展開

【司会】田中 靖人（熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学講座）

【共催】小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

SS1-1 肝細胞癌治療の最前線～ CheckMate9DW と多施設使用経験を踏まえて～

久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門

○下瀬 茂男

SS1-2 Nivolumab + Ipilimumab 併用療法の意義と免疫学的基盤

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○小玉 尚宏

6月5日（金）第1会場（ヴィクトリアホール） 15:30～16:20

スポンサーセッション2

基礎と臨床から考える肝細胞がん薬物治療戦略

【司会】竹原 徹郎（関西労災病院）

【共催】中外製薬株式会社

SS2-1 腫瘍微小環境における VEGF の役割

岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野／岡山大学病院 呼吸器内科

○富樫 庸介

**SS2-2 Atezolizumab + Bevacizumab 療法の長期予後と ABC-TACE 戦略
:多施設共同研究からの考察**

岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野

○黒田 英克

6月5日(金) 第1会場(ヴィクトリアホール) 16:30～17:20

イブニングセミナー

【司会】工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

【共催】アストラゼネカ株式会社 メディカル本部

ES 肝細胞癌の集学的治療における imAE マネジメントの重要性

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

○伊藤 隆徳

プログラム 1日目 (第2会場)

6月5日 (金) 第2会場 (アルバートホール) 13:20 ~ 14:30

一般演題 1

免疫複合療法 (1)、胆管癌

【司会】名越 澄子 (練馬光ヶ丘病院 消化器内科)

葛谷 貞二 (藤田医科大学 消化器内科)

【コメンテーター】多田 俊史 (神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科学分野)

01-1 当院における切除不能肝細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の初期使用経験

東京大学医学部附属病院 消化器内科

○馬淵 敬祐、山田 友春、金子 拓馬、松下 祐紀、奥新 和也、中塚 拓馬、佐藤 雅哉、南 達也、
工藤 洋太郎、建石 良介、藤城 光弘

01-2 肝細胞癌症例に対する Nivolumab and ipilimumab 併用療法における血清サイトカインからみた免疫学的変動

¹東邦大学 医療センター 大森病院 消化器内科、²JCHO 東京蒲田医療センター 消化器内科、

³東邦大学 薬学部 病態生化学研究室

○小林 康次郎¹、永井 英成^{1,2}、渡邊 菜帆¹、毛利 州秀^{1,2}、南雲 秀樹¹、吉峰 尚幸^{1,2}、荻野 悠¹、
松井 哲平¹、靱山 浩一¹、和久井 紀貴¹、桧貝 孝慈³、松田 尚久¹

01-3 当院における進行肝細胞癌に対する Nivolumab + Ipilimumab の使用状況および免疫関連有害事象と初回治療効果の検討

東北大学病院 消化器内科

○鶴岡 未央、二宮 匡史、井上 淳、佐藤 公亮、土井 耕太郎、渡邊 健吾、笹崎 智也、正宗 淳

01-4 進行肝細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法における副作用管理アプリの有効性の検討

広島大学病院消化器内科

○田中 裕輔、河岡 友和、末田 咲、江盛 智明、橋本 晃、田中 愛子、三浦 峻一、藤井 康智、
藤野 初江、大野 敦司、村上 英介、三木 大樹、柘植 雅貴

01-5 切除不能肝細胞癌におけるニボルマブ・イピリムマブ併用療法とデュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法の比較検討:実臨床における治療戦略の検証

¹神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 肝胆膵外科学分野、²神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科

○濱中 統親¹、小松 昇平¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、井上 裕太²、青江 佳歩²、大森 将貴¹、
滝本 大輔¹、佐野 隼大¹、木戸 正浩¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、荒井 啓輔¹、
大宮 悟志¹、南野 佳英¹、浅利 貞毅¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三²、福本 巧¹

01-6 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法およびニボルマブ・イピリムマブ併用療法における免疫介在性有害事象と有効性の比較検討

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

○米本 卓弥、小笠原 定久、安齋 春香、藤谷 誠、赤塚 鉄平、伊在井 亮、片山 慶一、澤田 翠、
土屋 貴大、三輪 千尋、吉埜 稜平、渡部 太郎、弓田 冴、興梠 慧輔、井上 将法、中村 昌人、
叶川 直哉、中本 晋吾、加藤 順

01-7 Real-world dataに基づく肝細胞癌に対する肝切除適応の再考:多施設共同研究

¹九州大学大学院 消化器・総合外科、²飯塚病院 外科、³大分赤十字病院 外科、⁴大分県立病院 外科、⁵広島赤十字・原爆病院 外科、⁶福岡市民病院 外科、⁷九州がんセンター 肝胆膵外科、⁸松山赤十字病院 外科、⁹福岡東医療センター 外科、¹⁰済生会福岡総合病院 外科

○伊勢田 憲史¹、伊藤 心二¹、萱島 寛人²、二宮 瑞樹²、山下 洋市³、福澤 謙吾³、宇都宮 徹⁴、前田 貴司⁵、森田 和豊⁶、杉町 圭史⁷、皆川 亮介⁸、内山 秀昭⁹、原田 昇¹⁰、本村 貴志¹、戸島 剛男¹、吉住 朋晴¹

01-8 当科における肝細胞癌肝外再発の危険因子および再発後治療成績の検討

北海道大学 消化器外科I

○鈴木 琢士、旭 火華、柿坂 達彦、長津 明久、相山 健、藤好 直、藤居 勇貴、志智 俊介、山本 葉一、川村 典生、渡辺 正明、後藤 了一、武富 紹信

01-9 肝細胞癌に対する複合免疫療法の治療経過に栄養指導が与える影響

¹山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、²山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学

○江種 真穂¹、佐伯 一成¹、藤岡 毅¹、田邊 規和¹、山崎 隆弘²、高見 太郎¹

01-10 NDB オープンデータを用いた肝内胆管癌患者に対する腹腔鏡下肝切除施行症例数およびその予後の検討

国立国際医療研究センター病院 外科

○國土 貴嗣、杉山 雄大、山田 康秀、國土 典宏

6月5日(金) 第2会場(アルバートホール) 14:40~15:50

一般演題2

治療効果予測・合併症と有害事象の管理

【司会】坂元 亨宇 (国際医療福祉大学医学部 医学部長)

武富 紹信 (北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室I)

【コメンテーター】二宮 匡史 (東北大学病院 消化器内科)

02-1 初回全身薬物療法 ICI レジメンの使い分けにおける BALAD スコアの有用性

¹愛媛県立中央病院 消化器内科、²RELPEC/HCC48

○平岡 淳^{1,2}、多田 俊史²、畑中 健²、田中 一成²、柿崎 暁²、小松 昇平²、豊田 秀徳²、田尻 和人²、石川 達²、黒田 英克²、玉井 秀幸²、越智 裕紀²、的野 智光²、筒井 朱美²、谷 丈二²、能祖 一裕²、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²、熊田 卓²

02-2 血液凝固因子 Von Willebrand factor は進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法の効果予測因子になりうるか

奈良県立医科大学 消化器代謝内科

○西村 尚起、浪崎 正、高谷 広章、岩田 臣弘、中谷 達也、花谷 純一、浅田 翔平、岩井 聡始、鍛冶 孝祐、吉治 仁志

02-3 肝細胞癌における腫瘍形態の複雑性と腫瘍反応性の関連の検討

¹愛媛大学大学院 地域救急医療学、²愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学

○矢野 怜¹、廣岡 昌史²、島本 豊伎²、岡崎 雄貴²、行本 敦²、中村 由子²、渡辺 崇夫²、吉田 理²、徳本 良雄²、阿部 雅則²、日浅 陽一²

- 02-4 転写因子 JUNB は肝癌幹細胞の上皮間葉転換を促し，遠隔転移を誘導する**
 金沢大学附属病院消化器内科
 ○河上 裕太郎、丹尾 幸樹、山下 太郎
- 02-5 肝細胞癌症例に対する Tremelimumab+Durvalumab 併用療法における免疫介在性有害事象と骨格筋量への影響**
¹東邦大学医療センター大森病院病院 消化器内科、²JCHO 東京蒲田医療センター 消化器内科
 ○南雲 秀樹¹、永井 英成^{1,2}、毛利 邦秀^{1,2}、吉峰 尚幸^{1,2}、小林 康次郎¹、荻野 悠¹、松井 哲平¹、
 榎山 浩一¹、和久井 紀貴¹、松田 尚久¹
- 02-6 Pemigatinib 治療後、Atezolizumab+Bevacizumab で治療した肝原発低分化な癌の 1 例**
 国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科
 ○浅木 彰則、大鶴 徹、灘野 成人
- 02-7 免疫チェックポイント阻害薬治療歴を有する肝細胞癌患者に発症した重症急性膵炎の一例**
 市立貝塚病院 消化器内科
 ○佐竹 真、垣田 成庸、片山 和宏
- 02-8 当院における免疫関連有害事象肝障害の肝障害の検討**
 松山赤十字病院 肝胆膵内科
 ○越智 裕紀、曹 芳、天野 通子、今井 祐輔、田中 孝明、畔元 信明、大野 芳敬、横田 智行
- 02-9 免疫チェックポイント阻害薬による下垂体・副腎機能障害:当院 772 例における癌腫別発症状況の検討**
¹国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器内科、²群馬県済生会前橋病院 消化器内科、
³国立病院機構 高崎総合医療センター 臨床研究部
 ○田中 琴^{1,2}、長沼 篤¹、書上 愛¹、井戸 健太¹、齋藤 董¹、成清 弘明¹、佐野 希望¹、鈴木 悠平¹、
 増田 智之¹、星野 崇¹、安岡 秀敏¹、畑中 健²、柿崎 暁³
- 02-10 他がん腫 Nivo + Ipi 症例における irAE 肝障害発症のリスク因子と irAE による肝体積減少の可能性**
 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野 消化器内科学
 ○橋原 哲史、豊田 俊徳、水田 貴大、前田 大樹、田中 健太郎、蔵野 宗太郎、飯尾 悦子、
 吉丸 洋子、渡邊 丈久、長岡 克弥、瀬戸山 博子、魚嶋 晴紀、田中 靖人

6月5日(金) 第2会場(アルバートホール) 16:00 ~ 17:05

一般演題 3

症例から学ぶ(1)

【司会】波多野 悦朗(京都大学肝胆膵・移植外科/小児外科)

能祖 一裕(岡山市立市民病院 消化器内科)

【コメンテーター】清水 雅仁(岐阜大学消化器内科学)

03-1 近赤外線応答性グルコース誘導体内包リポソーム製剤による肝がん治療開発

¹川崎医科大学消化器内科学、²金沢大学ナノ生命科学研究所、³周南記念病院 消化器病センター

○仁科 惣治¹、新井 敏²、佐々木 恭¹、日野 啓輔³

- 03-2 当院における AYA 世代 HCC 患者の実態**
 松山赤十字病院 肝胆膵内科
 ○今井 祐輔、曹 芳、天野 通子、田中 孝明、越智 裕紀、畔元 信明、横田 智行
- 03-3 アテゾリズマブ・ベバシズマブ投与中に進展した門脈腫瘍栓に対する放射線照射後、非照射原発巣の縮小を認めた肝細胞癌の一例**
 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科
 ○永合 浩己、佐藤 俊輔、山口 征大、加藤 蓉子、寺井 雄一郎、敵 理華、北 祐次、池田 裕至、佐藤 祥、村田 礼人、嶋田 裕慈、玄田 拓哉
- 03-4 閉塞性黄疸を伴った Vv3、B4 合併進行肝細胞癌に対して、胆道ドレナージ、肝動注、放射線療法、複合免疫療法による集学的治療が奏効している症例**
¹県立広島病院 消化器・肝臓内科、²県立広島病院 臨床腫瘍科、³県立広島病院 消化器・胆膵内科、⁴県立広島病院 放射線診断科、⁵県立広島病院 放射線治療科
 ○小坂 祐未¹、児玉 美千世²、松尾 奈美¹、吉川 ゆき¹、中原 隆志¹、芹川 正浩³、佐々木 民人³、稗田 雅司⁴、土井 歆子⁵、相方 浩¹
- 03-5 80mm 肝内 PD と腹膜播種 PD を越えて:PD を 5 回重ねても逐次追加治療で生存をつないだ進行 HCC**
¹岡山市立市民病院 消化器内科、²岡山市立市民病院 外科、³倉敷シテイ病院 内科
 ○狩山 和也¹、湧田 暁子¹、塩田 祥平¹、能祖 一裕¹、橋田 真輔²、佃 和憲²、東 俊宏³
- 03-6 デュルバルマブ / トレメリムマブ併用療法が著効した切除不能肝細胞癌の 1 例**
 埼玉医科大学
 ○漆原 陵、菅原 通子、今井 幸紀、坂田 浩、碓氷 七瀬、佐藤 彩、山田 俊介、辻 翔平、相馬 直人、内田 義人、安藤 さつき、中尾 将光、中山 伸朗、水野 卓、持田 智
- 03-7 デュルバルマブ / トレメリムマブが食道癌にも著効した進行再発肝細胞癌の 1 例**
 山形県立新庄病院 消化器内科
 ○奥本 和夫、土田 秀元、秋葉 昭多郎、堀内 英和
- 03-8 門脈腫瘍栓を伴う肝予備能不良・進行肝細胞癌に対しデュルバルマブ+トレメリムマブ併用療法が奏効した 1 例**
¹埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科、²埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科
 ○勅使河原 亨三郎¹、川村 祐介¹、堀 裕太郎¹、砂田 莉沙¹、木村 暁史²、牧 章²、竹村 信行²、別宮 好文²、松原 三郎¹
- 03-9 切除不能肝細胞癌(uHCC)に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の実臨床における 3 年間の有効性評価:ELIXIR 研究**
¹旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野、²千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、³名古屋大学医学部附属病院 消化器内科、⁴香川大学医学部 消化器・神経内科学、⁵東北大学 高度教養教育・学生支援機構、⁶国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、⁷兵庫医科大学 消化器内科学、⁸広島赤十字・原爆病院 第二消化器内科、⁹山形大学医学部 内科学第二講座、¹⁰藤田医科大学医学部 消化器内科学、¹¹関西医科大学医学部 肝臓外科学講座、¹²東海大学医学部医学科 消化器内科、¹³東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学、¹⁴日立総合病院 消化器内科、¹⁵飯塚病院 肝臓内科、¹⁶自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門、¹⁷横浜市立大学医学部医学科 臨床統計学、¹⁸京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学、¹⁹金沢大学病院 消化器内科、²⁰国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科
 ○澤田 康司¹、小笠原 定久²、伊藤 隆徳³、森下 朝洋⁴、井上 淳⁵、丸木 雄太⁶、西村 貴士⁷、辻 恵二⁸、上野 義之⁹、葛谷 貞二¹⁰、松井 康輔¹¹、加川 建弘¹²、建石 良介¹³、鴨志田 敏郎¹⁴、本村 健太¹⁵、森本 直樹¹⁶、山本 紘司¹⁷、森口 理久¹⁸、山下 竜也¹⁹、池田 公史²⁰

プログラム 2日目 (第1会場)

6月6日(土) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 8:00 ~ 8:50

モーニングセミナー

【司会】黒崎 雅之 (武蔵野赤十字病院)

【共催】アストラゼネカ株式会社

MS 進行肝細胞癌における CTLA-4 阻害の意義と最適な導入戦略
—STRIDE レジメンを中心に—
公立松任石川中央病院
○山下 竜也

6月6日(土) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 9:00 ~ 10:00

特別講演

【司会】日浅 陽一 (愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学)

SP-1 肝がん薬物療法の新展開
近畿大学 消化器内科
【講師】工藤 正俊

SP-2 分子標的治療はがん免疫治療となり得るか？
—がん細胞と免疫細胞での分子標的薬の作用の違いを考える—
京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター がん免疫多細胞システム制御部門
国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野
名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学講座 分子細胞免疫学
【講師】西川 博嘉

6月6日(土) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 10:10 ~ 11:00

スポンサーセッション3

IO時代の切除不能HCC治療をどう考えるか——遺伝子パネル検査の実際とカボザンチニブの役割

【司会】坂本 直哉 (北海道大学大学院医学研究院 内科学分野消化器内科学教室)

【共催】武田薬品工業株式会社

SS3-1 ケースで学ぶHCC個別化——遺伝子パネル検査の実装とカボザンチニブの活用
近畿大学医学部 消化器内科
○上嶋 一臣

SS3-2 免疫療法時代における切除不能肝細胞癌に対するカボザンチニブ治療の位置づけ
武蔵野赤十字病院 消化器内科
○土谷 薫

6月6日(土) 第1会場(ヴィクトリアホール) 11:30～12:20

ランチョンセミナー2

【司会】持田 智(埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科)

【共催】アッヴィ合同会社

LS2 慢性肝疾患の実臨床のエビデンス～C型肝炎から肝硬変・門脈圧亢進症まで～

日本医科大学 消化器・肝臓内科

○厚川 正則

6月6日(土) 第1会場(ヴィクトリアホール) 12:40～13:40

教育講演

【司会】熊田 卓(岐阜協立大学)

EL-001 HCC 全身治療における門脈圧亢進症 - 病態理解から管理の実際まで -

愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター

【講師】廣岡 昌史

EL-002 肝腫瘍における微小血流イメージングの臨床的意義: Microvascular Imaging を基盤としたHCC診療への応用と展望

兵庫医科大学 消化器内科学 肝胆膵内科

【講師】飯島 尋子

6月6日(土) 第1会場(ヴィクトリアホール) 13:50～14:50

プレナリーセッション2

【司会】泉 並木(武蔵野赤十字病院)

小笠原 定久(千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)

【コメンテーター】小松 昇平(神戸大学医学部附属病院 肝胆膵外科)

PL2-1 Depth of Response からみる複合免疫療法の治療戦略

愛媛大学大学院 医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学

○中村 由子、廣岡 昌史、矢野 怜、島本 豊伎、岡崎 雄貴、行本 敦、渡辺 崇夫、吉田 理、徳本 良雄、阿部 雅則、日浅 陽一

PL2-2 肝細胞癌に対するNivolumab + ipilimumab 治療の安全性と有効性に関する検討

¹JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院 消化器内科、²順天堂大学練馬病院 消化器内科、

³東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、⁴熊本大学 消化器内科、⁵聖マリアンナ医科大学 消化器肝臓内科、

⁶北里大学 消化器内科、⁷神奈川県立がんセンター 肝胆膵内科、⁸湘南鎌倉総合病院 消化器内科、

⁹湘南東部総合病院 消化器内科、¹⁰東海大学 消化器内科、¹¹横浜市立大学附属市民総合医療センター

○中馬 誠^{1,11}、大久保 裕直²、松井 哲平³、檜原 哲史⁴、魚嶋 晴紀⁴、渡邊 綱正⁵、鈴木 達也⁵、岩崎 秀一郎⁶、日高 央⁶、福島 泰斗⁷、小林 智⁷、小林 正宏⁸、平野 克治⁹、船岡 昭宏¹¹、永井 英成³、加川 建弘¹⁰、田中 靖人⁴、森本 学¹¹

PL2-3 多施設リアルワールドデータに基づく Nivolumab + Ipilimumab 併用療法の早期治療成績

¹名古屋大学医学部附属病院 消化器内科、²久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門、
³神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学、⁴群馬県済生会前橋病院 消化器内科、
⁵高崎総合医療センター 消化器内科、⁶慶應義塾大学医学部 消化器内科、⁷徳島大学医学部附属病院 消化器内科、
⁸岡山大学病院新医療研究開発センター、⁹川崎医科大学 消化器内科、¹⁰山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、
¹¹産業医科大学医学部第3内科学、¹²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科学、
¹³香川大学医学部 消化器神経内科、¹⁴Hepatology InVestigator Experts in Japan (HIVE-J) Study Group

○伊藤 隆徳^{1,14}、下瀬 茂男^{2,14}、松浦 敬憲^{3,14}、畑中 健^{4,14}、柿崎 暁^{5,14}、谷木 信仁^{6,14}、
友成 哲^{7,14}、竹内 康人^{8,14}、佐々木 恭^{9,14}、佐伯 一成^{10,14}、田邊 規和^{10,14}、本間 雄一^{11,14}、
佐々木 龍^{12,14}、谷 丈二^{13,14}

PL2-4 複合免疫療法時代のシーケンシャル治療 -HERITAGE 試験から -

¹帝京大学 医学部 内科学講座、²国立国際医療センター、³東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学、
⁴日本肝癌研究会追跡調査委員会、⁵国立健康危機管理研究機構

○浅岡 良成^{1,2}、建石 良介^{3,4}、山田 康秀⁵、國土 貴嗣²、斎藤 明子²、長谷川 潔⁴、坂元 亨宇⁴、
武富 紹信⁴、田中 真二⁴、村上 卓道⁴、吉満 研吾⁴、能祖 一裕⁴、黒崎 雅之⁴、波多野 悦朗⁴、
松山 裕⁴、工藤 正俊⁴、國土 典宏⁵

PL2-5 進行肝細胞癌に対するトレメリムブ+デュルバルマブ療法の実臨床成績と Primary PD/Acquired PD 別後治療選択に関する多機関共同研究

¹香川大学 医学部 消化器・神経内科、²慶應義塾大学 医学部 消化器内科、³名古屋大学 医学部 消化器内科、
⁴済生会前橋病院 消化器内科、⁵国立病院機構高崎総合医療センター 消化器内科、⁶徳島大学 医学部 消化器内科、
⁷神戸大学 医学部 消化器内科、⁸長崎大学 医学部 消化器内科、⁹久留米大学 医学部 消化器内科、
¹⁰産業医科大学 医学部 消化器内科、¹¹山口大学 医学部 消化器内科、¹²川崎医科大学 医学部 消化器内科、
¹³岡山大学 医学部 消化器内科、¹⁴Hepatology InVestigator Experts in Japan (HIVE-J) Study Group

○谷 丈二^{1,14}、谷木 信仁^{2,14}、伊藤 隆徳^{3,14}、畑中 健^{4,14}、柿崎 暁^{5,14}、友成 哲^{6,14}、松浦 敬憲^{7,14}、
佐々木 龍^{8,14}、下瀬 茂男^{9,14}、本間 雄一^{10,14}、田邊 規和^{11,14}、佐々木 恭^{12,14}、竹内 康人^{13,14}

PL2-6 肝細胞癌における免疫チェックポイント阻害薬のハザード解析による一次・二次耐性の検討

¹名古屋大学 医学部附属病院 消化器内科、²三重大学 医学部附属病院 消化器内科、
³岐阜大学 医学部附属病院 第一内科、⁴藤田医科大学 医学部附属病院 消化器内科

○鈴木 貴也¹、伊藤 隆徳¹、藤原 直人²、着本 望音²、今井 健二³、有賀 美月⁴、河内 瑞季²、
大和 浩乃²、玉井 康将²、重福 隆太²、爲田 雅彦²、小倉 英²、田中 秀明²、高井 光治³、
清水 雅仁³、本多 隆¹、葛谷 貞二⁴、中川 勇人²、川嶋 啓揮¹

6月6日(土) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 14:50 ~ 15:05

沖田賞授賞式

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学 医学部 消化器内科)

6月6日(土) 第1会場 (ヴィクトリアホール) 15:05 ~ 15:20

第32回・第33回日本肝がん分子標的治療研究会 最優秀演題 Award 授賞式

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学 医学部 消化器内科)

第32回最優秀演題 Award

アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法がもたらす治療効果と腫瘍浸潤リンパ球の関係：
CD8+T 細胞の空間的特徴を予測バイオマーカーとした組織学的評価

千葉大学大学院医学研究院消化器内科学

○神崎 洋彰

高齢者における STRIDE レジメンの有効性と安全性

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野

○多田 俊史

肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬含有レジメンと併用薬の検討

国立がん研究センター東病院肝胆膵内科

○佐竹 智行

メチル化遺伝子による Atezolizumab+Bevacizumab 療法の治療モニタリング

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○江種 真穂

肝細胞癌腫瘍学的切除可能性分類に基づいた肝切除および薬物療法治療成績の検証

神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 肝胆膵外科学分野

○小松 昇平

第 33 回最優秀演題 Award

解糖系阻害剤内包近赤外線応答性リポソームによる新規肝癌抑制効果の検討

川崎医科大学 消化器内科学

○仁科 惣治

アテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法を受けた切除不能進行肝細胞癌症例におけるスタチン内服の影響についての検討

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○上月 美穂

ICI 後の肝細胞癌におけるアブレーション追加の安全性

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○小宮山 泰之

デジタルツールを活用した irAE マネージメントに対する多職種との取り組み—SNS と IO アプリ—

愛媛大学大学院 医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学

○中村 由子

7 次治療(レンバチニブ rechallenge を含む)として導入したニボルマブ+イピリムマブ併用療法が奏功した進行肝細胞癌の一例

武蔵野赤十字病院 消化器内科

○田口 美奈

病理学的検討を行った Durvalumab/Tremelimumab 併用療法による完全奏功を得た HIV 陽性肝細胞癌の一例

新潟大学医学部消化器内科学分野

○吉田 智彰

6月6日(土) 第1会場(ヴィクトリアホール) 15:30～16:20

スポンサーセッション4

肝細胞癌：治ることをあきらめない

【司会】岩本 英希 (医療法人岩本内科医院/久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門)

【共催】エーザイ株式会社

SS4-1 ステージ4bからの軌跡

○高須 将大

SS4-2 進行肝細胞癌に対するNew FP療法と全身薬物療法併用の有用性
～患者さんたちの希望をかなえるためにできること～

順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学

○永松 洋明

6月6日(土) 第1会場(ヴィクトリアホール) 16:30～16:50

閉会式・次回当番世話人挨拶

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学 医学部 消化器内科)

【当番世話人】日浅 陽一 (愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学)

プログラム 2日目 (第2会場)

6月6日(土) 第2会場(アルバートホール) 9:00～10:10

一般演題 4

免疫複合療法(2)、TKI、肝切除

【司会】上野 義之(山形大学医学部内科学第二講座)

長谷川 潔(東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科学)

【コメンテーター】河岡 友和(広島大学病院 消化器代謝内科)

04-1 進行肝細胞癌に対する ICI sequential therapy の治療成績

¹関西医科大学 肝臓外科、²関西医科大学 消化器肝臓内科

○山本 栄和¹、大東 拓哉¹、吉川 潤一¹、松島 英之¹、木口 剛造¹、小坂 久¹、山口 隆志²、志波 俊輔²、山敷 宜代²、下田 慎治²、松井 康輔¹、海堀 昌樹¹

04-2 STRIDE 療法効果予測における治療前腫瘍内 CD8 陽性 T 細胞浸潤の意義

飯塚病院 肝臓内科

○柴野 哲史、濱本 太寛、田中 亮太郎、黒坂 一輝、本村 健太、田中 紘介

04-3 進行肝細胞癌における LEN-TACE を用いた集学的治療

北海道大学病院 消化器内科

○荘 拓也、須田 剛生、横山 大輔、田中 崇倫、目野 晃光、北潟谷 隆、大原 正嗣、中井 正人、坂本 直哉

04-4 進行肝細胞癌患者を対象としたレンバチニブの至適な減量方法を検討するランダム化第 II 相試験

¹金沢大学附属病院 消化器内科、²金沢医科大学 腫瘍内科、³福井大学 腎臓病態内科学・検査医学

○高田 昇¹、寺島 健志²、遠山 直志³、丹尾 幸樹¹、山下 竜也¹、山下 太郎¹

04-5 腎機能障害を伴う肝細胞癌に対するレンバチニブの有用性

¹兵庫医科大学 消化器内科(肝胆膵内科)、²兵庫医科大学病院 超音波センター、³兵庫医科大学 肝胆膵外科

○西村 貴士^{1,2}、會澤 信弘¹、高嶋 智之¹、吉岡 亮太¹、由利 幸久¹、池田 直人¹、多田 正晴³、廣野 誠子³、榎本 平之¹、飯島 尋子^{1,2}

04-6 複合免疫療法における Hyper progression disease の予測因子の検討

奈良県立医科大学 消化器・代謝内科

○米田 裕亮、浪崎 正、辻 裕樹、西村 尚起、鍛冶 孝祐、吉治 仁志

04-7 免疫チェックポイント阻害剤投与後の肝細胞癌に対するカボザンチニブ治療～治療シークエンス、用量設定を探る～

順天堂大学練馬病院 消化器内科

○大久保 裕直、太田 寛人、石井 重登、福生 有華

04-8 薬物療法と局所療法および外科治療による curative intent な周術期コンビネーション治療

¹京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科、²京都大学医学研究科 消化器内科

○西尾 太宏¹、楊 知明¹、西野 裕人¹、坂元 克教¹、小木曾 聡¹、長井 和之¹、内田 洋一郎¹、竹田 治彦²、犬塚 義²、三嶋 真紗子²、高井 淳²、伊藤 孝司¹、石井 隆道¹、妹尾 浩²、波多野 悦朗¹

04-9 Borderline Resectable 肝細胞癌における肝切除前薬物療法の治療効果

北海道大学 医学部 消化器外科 I

○旭 火華、志智 俊介、坂本 譲、藤好 直、相山 健、長津 明久、川村 典夫、渡辺 正明、後藤 了一、柿坂 達彦、武富 紹信

04-10 肝細胞癌治療薬への核酸医薬の応用:肝癌由来増殖因子を標的とする新たな肝細胞癌治療薬の開発の試み

兵庫医科大学 消化器内科

○榎本 平之、由利 幸久、曾澤 信弘、池田 直人、高嶋 智之、吉岡 亮太、塩見 英之、西村 貴士、新崎 信一郎

6月6日(土) 第2会場(アルバートホール) 10:15~11:20

一般演題 5

症例から学ぶ(2)

【司会】八橋 弘 (国立病院機構長崎医療センター)

仁科 惣治 (川崎医科大学 消化器内科学)

【コメンテーター】川村 祐介 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

05-1 肝細胞癌に対してニボルマブ+イピリムバブ投与中の irAE 肝障害に対して高用量ステロイド投与中に irAE 皮膚障害を生じた一例

九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科

○千住 猛士、黒川 美穂、田中 ゆき、杉本 理恵

05-2 Nivolumab+Ipilimumab 単回投与で irAE 肝障害をきたすも著効し、RFA との組み合わせで病勢制御が得られた肝細胞癌骨転移の一例

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 消化器内科

○山下 勇大、阿部 友太郎、藤平 和秀、田中 大地、中尾 憲史、中村 一輝、北川 綾香、大内 祥平、水本 壘、田中 聡司、長谷川 裕子、榊原 祐子、阪森 亮太郎

05-3 大型肝細胞癌に対するニボルマブ・イピリムバブ併用療法後の irAE 管理を経て肝切除し得た 1 例

¹旭川医科大学 外科学講座 消化器・移植外科学分野、²旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野、

³旭川医科大学 救急医学講座

○宮原 健人¹、水上 奨一郎¹、高橋 裕之¹、今井 浩二¹、佐藤 進之介¹、大竹 晋²、林 秀美²、中嶋 駿介³、澤田 康司²、麻生 和信²、横尾 英樹¹

- 05-4 切除不能肝細胞癌にニボルマブ・イピリムマブ併用療法を行い Grade5 の再生不良性貧血を発症した一例**
¹神戸大学 肝胆膵外科、²神戸大学 消化器内科
 ○古屋 茉莉亜¹、小松 昇平¹、濱中 統親¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、井上 裕太²、青江 佳歩²、大森 將貴¹、佐野 隼大¹、木戸 正浩¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、荒井 啓輔¹、井口 浩輔¹、大宮 悟志¹、浅利 貞毅¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三²、福本 巧¹
- 05-5 4次治療の Nivolumab + Ipilimumab により pseudo-progression を来したのちに奏功した進行肝細胞癌の 1 例**
 福岡大学 医学部 消化器内科
 ○高田 和英、田中 崇、笹原 祐哉、下司 安春、徳重 裕陽、柴田 久美子、宮山 隆志、永田 貴大、内田 洋太郎、山内 涼、福田 洋美、横山 圭二、平井 郁仁
- 05-6 尿管癌を合併した切除不能肝細胞癌に nivolumab + ipilimumab 併用療法を施行し著効した 1 例**
 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科
 ○中田 有哉、的野 智光、小田 晋也、河野 未樹、山本 淳史、森川 輝久、佐貴 毅
- 05-7 切除不能進行肝癌に対するイピリムマブ、ニボルマブ療法の初期治療経験**
 関西労災病院 消化器内科
 ○村富 秀太、野崎 泰俊、岩本 剛幸、工藤 慎之輔、井上 貴功、須田 貴広、武田 梨里、池澤 賢治、太田 高志、山口 真二郎、竹原 徹郎
- 05-8 免疫チェックポイント阻害薬における irAE としてのサイトカイン放出症候群 (irAE-CRS) について**
 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター肝臓内科
 ○本吉 康英、森川 俊介、児島 知仁、釘山 有希、末廣 智之、佐伯 哲、長岡 進矢、山崎 一美、小森 敦正、八橋 弘
- 05-9 腹部症状ならびに血液炎症所見に乏しく確定診断に苦慮した irAE 小腸炎の 1 例**
 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器内科学分野
 ○弥久保 俊太、吉田 智彰、木村 成宏、横尾 健、寺井 崇二

6月6日(土) 第2会場 (アルバートホール) 12:40 ~ 13:50

一般演題 6

免疫複合療法 (3)

【司会】永井 英成 (JCHO 東京蒲田医療センター)

海堀 昌樹 (関西医科大学 肝臓外科学講座)

【コメンテーター】平岡 淳 (愛媛県立中央病院 消化器内科)

- 06-1 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法下の肝細胞癌に対する放射線治療の有効性**
¹京都大学医学部附属病院 消化器内科、²京都大学医学部附属病院 放射線治療科
 ○森村 博樹¹、岸 徳子²、竹田 治彦¹、高井 淳¹

- 06-2 Atezolizumab + Bevacizumab 療法後にコンバージョン手術を施行した肝細胞癌 4 例の検討**
北里大学病院 消化器内科
○野村 奈央、飯田 淳貴、岩崎 秀一郎、日高 央
- 06-3 進行肝細胞癌におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法後の Conversion/Salvage 粒子線治療のインパクト**
¹神戸大学大学院 医学研究科 肝胆膵外科学分野、²兵庫県立粒子線医療センター
○松村 雅生¹、寺嶋 千貴²、濱中 統親¹、小松 昇平¹、高端 大希²、松尾 圭朗²、丹羽 康江²、徳丸 直郎²、沖本 智昭²、福本 巧¹
- 06-4 アテゾリズマブ / ベバシズマブ併用療法による進行肝細胞癌の治療戦略**
¹神戸大学 医学部 肝胆膵外科、²神戸大学 医学部 消化器内科
○松下 周平¹、小松 昇平¹、佐野 隼大¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、井上 裕太²、青江 佳歩²、大森 将貴¹、濱中 統親¹、木戸 正浩¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、荒井 啓輔¹、井口 浩輔¹、大宮 悟志¹、浅利 貞毅¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三²、福本 巧¹
- 06-5 肝癌に対するアテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法中の降圧薬選択が蛋白尿発症リスクに及ぼす影響**
北海道大学病院 消化器内科
○北潟谷 隆、戸田 喜子、田中 崇倫、横山 大輔、目野 晃光、大原 正嗣、中井 正人、荘 拓也、須田 剛生、坂本 直哉
- 06-6 リアルワールドにおける STRIDE レジメン HIMALAYA trial 適格基準内外症例の予後**
¹神戸大学 大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野、²姫路赤十字病院 内科、³RELPEC/HCC48、⁴愛媛県立中央病院 消化器内科、⁵兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科、⁶岡山市立市民病院 消化器内科、⁷群馬県済生会前橋病院 消化器内科、⁸手稲溪仁会病院 消化器内科、⁹独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 臨床研究部、¹⁰大垣市民病院 消化器内科、¹¹香川県立中央病院 肝臓内科、¹²岐阜協立大学
○多田 俊史^{1,2,3}、平岡 淳^{3,4}、的野 智光^{3,5}、能祖 一裕^{3,6}、畑中 健^{3,7}、辻 邦彦^{3,8}、柿崎 暁^{3,9}、豊田 秀徳^{3,10}、高口 浩一^{3,11}、熊田 卓^{3,12}
- 06-7 進行肝細胞癌に対する Durvalumab + Tremelimumab 療法の治療成績**
徳島大学病院 消化器内科
○田中 宏典、花田 康平、米澤 真衣、高山 哲治
- 06-8 デュルバルマブ+トレメリムマブ併用療法における奏効例の予後:一次治療例とアテゾリズマブ+ベバシズマブ既治療例の比較**
¹群馬県済生会前橋病院 消化器内科、²RELPEC/HCC48 group
○畑中 健^{1,2}、矢田 豊²、平岡 淳²、多田 俊史²、狩山 和也²、谷 丈二²、柿崎 暁²、田中 一成²、小林 倫太郎²、糸林 詠²、長沼 篤²、廣岡 昌史²、田尻 和人²、黒田 英克²、豊田 秀徳²、小松 昇平²、海堀 昌樹²、熊田 卓²
- 06-9 切除不能肝細胞癌に対する Durvalumab+Tremelimumab 療法における投与前抗核抗体と imAE 関連有害事象の関連**
¹愛媛大学大学院 地域救急医療学、²愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学
○矢野 怜¹、廣岡 昌史²、島本 豊伎²、岡崎 雄貴²、行本 敦²、中村 由子²、渡辺 崇夫²、吉田 理²、徳本 良雄²、阿部 雅則²、日浅 陽一²

06-10 著明な炎症反応を伴う進行肝細胞癌に対し Durvalumab 単剤が奏効し conversion 肝切除まで施行した 1 例

¹順天堂大学医学部附属練馬病院 消化器内科、²虎の門病院 肝胆膵外科

○望月 佑奈¹、太田 寛人¹、石井 重登¹、福生 有華¹、大久保 裕直¹、進藤 潤一²

6月6日(土) 第2会場(アルバートホール) 14:00~15:10

一般演題 7

免疫複合療法 (5)

【司会】相方 浩 (県立広島病院 消化器・肝臓内科)

大久保 裕直 (順天堂大学医学部附属練馬病院 消化器内科)

【コメンテーター】畑中 健 (群馬県済生会前橋病院 消化器内科)

07-1 New FP 療法と Atezolizumab + Bevacizumab 併用療法のシークエンス治療効果の検討

¹香川労災病院 消化器内科、²香川大学医学部消化器神経内科

○出口 章広¹、谷 丈二²、森下 朝洋²

07-2 Vp4 を伴う切除不能進行肝細胞癌に対する 1 次治療として施行された複合免疫療法の Real-world 成績比較

¹愛媛県立中央病院 消化器内科、²RELPEC Study Group/HCC48 Group

○多田 藤政^{1,2}、多田 俊史²、青木 智子²、狩山 和也²、畑中 健²、川田 一仁²、田尻 和人²、的野 智光²、谷 丈二²、西村 貴士²、黒田 英克²、厚川 正則²、糸林 詠²、高口 浩一²、豊田 秀徳²、柿崎 暁²、海堀 昌樹²、西川 浩樹²、日浅 陽一²、熊田 卓²

07-3 Atezolizumab + Bevacizumab 併用療法後の肝細胞癌切除検体の病理組織学的検討

¹久留米大学 医学部 病理学講座、²久留米大学 医学部 内科学講座 消化器内科部門、

³久留米大学 医学部 外科学講座 肝胆膵外科部門、⁴岩本内科医院、⁵しもせ内科クリニック、

⁶久留米大学病院 病理診断科・病理部、⁷済生会二日市病院 検査部、⁸久留米大学 先端癌治療研究センター

○三原 勇太郎¹、中山 正道¹、城野 智毅²、後藤 祐一³、酒井 美和²、岩本 英希^{2,4}、下瀬 茂男^{2,5}、塩賀 太郎¹、近藤 礼一郎¹、新関 敬²、草野 弘宣^{1,6}、酒井 久宗³、矢野 博久^{7,8}、古賀 浩徳^{2,8}、川口 巧²、久下 亨³、秋葉 純¹

07-4 1 次治療として Atezolizumab/Bevacizumab 療法を行った切除不能肝細胞癌患者の長期成績

¹愛媛県立中央病院 消化器内科、²RELPEC/HCC48

○大濱 日出子^{1,2}、多田 俊史²、畑中 健²、狩山 和也²、小川 力²、糸林 詠²、小松 昇平²、谷 丈二²、玉井 秀幸²、黒田 英克²、辻 邦彦²、田尻 和人²、厚川 正則²、西川 浩樹²、豊田 秀徳²、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²、熊田 卓²

07-5 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法における Bev 投与量と臨床転帰の検討

¹姫路赤十字病院 内科、²RELPEC/HCC48

○田中 瑛美¹、多田 俊史^{1,2}、熊田 卓²、平岡 淳²、谷 丈二²、厚川 正則²、高口 浩一²、糸林 詠²、辻 邦彦²、石川 達²、豊田 秀徳²、畑中 健²、柿崎 暁²、玉井 秀幸²、狩山 和也²、能祖 一裕²、中村 進一郎^{1,2}、海堀 昌樹²、日浅 陽一²、工藤 正俊²

07-6 当院における切除不能肝細胞癌に対する初回全身化学療法としてのアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の成績

三豊総合病院 消化器内科

○守屋 昭男

07-7 予後予測モデルを用いた HCC Advanced stage に対する Atezolizumab+Bevacizumab 療法の効果予測の検討

¹東北大学病院 消化器内科、²東北大学 高度教養教育・学生支援機構 保健管理センター

○二宮 匡史¹、鶴岡 未央¹、佐藤 公亮¹、渡邊 健吾¹、土井 耕太郎¹、笹崎 智也¹、井上 淳²、正宗 淳¹

07-8 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法における脂肪分布と予後の関連

¹神戸大学肝胆膵外科、²神戸大学消化器内科

○佐野 隼大¹、大宮 悟志¹、小松 昇平¹、多田 俊史²、松浦 敬憲²、井上 裕太²、青江 佳歩²、大森 将貴¹、濱中 統親¹、木戸 正浩¹、福島 健司¹、浦出 剛史¹、吉田 俊彦¹、荒井 啓輔¹、井口 浩輔¹、浅利 貞毅¹、柳本 泰明¹、児玉 裕三 児玉 裕三²、福本 巧¹

07-9 アテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法における非腫瘍肝体積変化および肝予備能の関連

熊本大学大学院 生命科学研究所 生体機能病態学分野 消化器内科学

○水田 貴大、檜原 哲史、豊田 俊徳、前田 大樹、蔵野 宗太郎、田中 健太郎、吉丸 洋子、長岡 克弥、渡邊 丈久、瀬戸山 博子、魚嶋 晴紀、田中 靖人

07-10 門脈浸潤を伴う肝細胞癌に対するアテゾリズマブ + ベバシズマブ併用療法の出血性合併症の検討 :PRISM study 副次的解析

¹神奈川県立がんセンター消化器内科、²大阪大学大学院医学系研究科、³千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、⁴広島大学病院消化器・代謝内科、⁵久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門、⁶熊本大学病院消化器内科、⁷横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター内科、⁸東邦大学医療センター大森病院消化器内科、⁹愛知県がんセンター放射線診断・IVR部、¹⁰武蔵野赤十字病院消化器科、¹¹北里大学医学部消化器内科学、¹²杏林大学医学部腫瘍内科学教室、¹³奈良県立医科大学放射線診断・IVR学教室、¹⁴岩手医科大学内科学講座消化器内科分野、¹⁵国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科、¹⁶金沢大学附属病院消化器内科、¹⁷九州大学大学院消化器・総合外科、¹⁸国立がん研究センター東病院肝胆膵内科、¹⁹近畿大学病院消化器内科

○福島 泰斗¹、上野 誠¹、小野塚 大介²、小笠原 定久³、河岡 友和⁴、新関 敬⁵、田中 靖人⁶、森本 学⁷、永井 英成⁸、稲葉 吉隆⁹、土谷 薫¹⁰、日高 央¹¹、長島 文夫¹²、田中 利洋¹³、黒田 英克¹⁴、奥坂 拓志¹⁵、山下 竜也¹⁶、伊藤 心二¹⁷、池田 公史¹⁸、工藤 正俊¹⁹

6月6日(土) 第2会場(アルバートホール) 15:20~16:30

一般演題 8

免疫複合療法(4)

【司会】建石 良介(東京大学医学部附属病院 消化器内科)

高見 太郎(山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

【コメンテーター】日高 央(北里大学医学部 消化器内科)

08-1 Nivo/Ipi 療法の治療効果と腫瘍マーカー推移の検討

広島大学病院 消化器内科

○橋本 晃、河岡 友和、住井 悠紀、末田 咲、田中 愛子、江盛 智明、田中 裕輔、上平 祐輔、三浦 峻一、藤野 初江、大野 敦司、村上 英介、三木 大樹、柘植 雅貴、岡 志郎

- 08-2 切除不能肝細胞癌におけるニボルマブ / イピリムマブ併用療法の初期治療経験**
 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科
 ○的野 智光、小田 晋也、中田 有哉、河野 未樹、山本 淳史、森川 輝久、佐貫 毅
- 08-3 進行肝細胞癌に対するイピリムマブ + ニボルマブ併用療法 (IPINIVO) の治療経験**
 自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
 ○上野 航、渡邊 俊司、泉 直登、大塚 陽介、三浦 光一、森本 直樹
- 08-4 進行肝細胞癌に対するニボルマブ + イピリムマブ併用療法の実臨床成績 — 治療ライン別の検討 —**
 藤田医科大学 消化器内科
 ○葛谷 貞二、河村 岳史、中野 卓二、田中 浩敬、中岡 和徳、大野 栄三郎
- 08-5 切除不能肝細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の実臨床における早期経験**
 武蔵野赤十字病院 消化器内科
 ○清家 理佐、土谷 薫、島 拓哉、山崎 雄大、内原 直樹、木村 晶平、田中 雄紀、小林 諒平、八木田 純子、笠野 由佳、小宮山 泰之、高浦 健太、田中 将平、高田 ひとみ、前屋舗 千明、玉城 信治、安井 豊、中西 裕之、黒崎 雅之、泉 並木
- 08-6 肝細胞癌に対するイピリムマブ + ニボルマブ療法の早期使用経験**
¹倉敷中央病院 消化器内科、²京都大学大学院医学研究科 消化器内科学
 ○西川 慧¹、上野 真行^{1,2}、竹田 治彦²、高井 淳²、妹尾 浩²
- 08-7 進行肝細胞癌に対するニボルマブ + イピリムマブ併用療法の初期治療成績**
 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科
 ○佐竹 智行、佐々木 満仁、今岡 大、澁木 太郎、井上 佳苗、平 知尚、五十嵐 剛、網崎 正孝、高橋 秀明、光永 修一、池田 公史
- 08-8 切除不能肝細胞癌に対するニボルマブ + イピリムマブ併用療法の実臨床における初期治療効果と安全性の検討**
¹大阪大学 大学院 医学系研究科 消化器内科学、²大阪警察病院 消化器内科、³大阪府立急性期・総合医療センター 消化器内科、⁴国立病院機構大阪医療センター 消化器内科
 ○上月 美穂¹、前阪 和城¹、田畑 優貴¹、齋藤 義修¹、宮崎 昌典²、薬師神 崇行³、阪森 亮太郎⁴、足田 隼人¹、小玉 尚宏¹
- 08-9 当院における切除不能進行肝癌に対するイピリムマブ、ニボルマブ併用療法の治療成績**
 高知大学 医学部 附属病院 消化器内科
 ○宇賀 俊輔、越智 経浩、小笠原 光成、廣瀬 享、宮地 英行、内田 一茂
- 08-10 当院における、切除不能進行肝細胞癌に対するニボルマブ + イピリムマブ併用療法の治療成績についての検討**
¹埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科、²埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科、³虎の門病院 消化器外科
 ○堀 裕太郎¹、川村 祐介¹、進藤 潤一^{2,3}、砂田 莉沙¹、木村 暁史²、牧 章²、竹村 信行²、別宮 好文²、松原 三郎¹